

CAVOK 欧州航海日誌 2012年5月18日-5月25日

5月18日(金)Porto Cervo 晴れ

のんびりした朝を迎える。

今日はホテルに泊まって居る平田夫妻と 14 時過ぎにマリーナで待ち合わせをしてマリーナ内のショップを覗く。そのあと“YOCHT CLUB COSTA SMERALDA”に寄ってみる。大変立派なエントランスだ。

メンバーオンリーのクラブなので、受付で「我々は葉山ヨットクラブのメンバーである。ヨットで来たので中に入れて欲しい」と聞いたところ、パスポートの提示と平田さんのプレーザーに付けてあった HMYC のエンブレムを見て入れてくれた。3 階建てでも広く 5 星ホテルの風格があり、正に一流のヨットクラブであった。各国のフラッグを壁にかけてあるがその中に日本チャレンジのフラッグを見つけうれしかった。

海とマリーナの見える 2 階のバーで平田さんと私はビール、百合子さんと悦子はクラブお奨めカクテルを飲んだが、何とお勘定が60€、これまた一流と驚く。

夜は平田さんのご招待で、平田さんの宿泊先の Colonna Park Hotel でご馳走になる。

イタリアの海辺のリゾートホテルらしく部屋からすぐプールサイドに出ることが出来、装飾もイタリアらしいカラーの素敵なホテルだった。この時期なのにレストランは満席で食事の予約は 21 時しか取れなかったようだ。

夕食は二つのコースのチョイスでお肉とお魚とそれぞれ選んで食べた。私は 野菜スープ、サーモンのペンネ、子牛のカンノウワイン煮のコースを頂く。どちらかというフランス感覚の味付けでとてもおいしく頂いた。

23 時過ぎにヨットに帰り満腹なのでシャワーも浴びずぐっすり休む。

5月19日(土)Porto Cervo~Cannagione 12NM 晴れ

今日はエメラルド海岸をのんびり眺めながらの航海だ。

南東の 20 ノット前後のフリーの良い風が吹いている。湖水のような静かな海面を島の間を抜けながらワンポイントリーフで気持ちよく滑る。セーリングしているヨットも多くなり 10 数艇のヨットがコルシカ島に向かっているのが見えた。

カンニジョーネのマリーナに 13 時前に着くがマリーナにスタッフがいない連絡が取れない。風も強いので用心してスタッフが来るのを待つ。ここ在中の友人 Antonio に電話で連絡して誰か来るようお願いする。イタリア語、フランス語、英語堪能な百合子さんがいるので助かる。

電話で確認したところ 14 時にスタッフが来るとのことだった、結果 15 時に来てくれ無事強風の中舳取りを取る。このマリーナは横づけするところがなく槍づけになるのでポンツーンに人がいないと係留が難しい。無理をしないのがこの航海の一つの方針なので焦らずスタッフが来るのを待った。スタッフは親切で舳取りを取るときに手伝ってもらった。舳取りを取りホットして遅いお昼を頂く。

夕方 Antonio が来て久しぶりの再会をする。艇で久しぶりに彼と一杯飲む。明日は Sassari でお祭りがあるということなので Antonio に観光に連れて行ってもらう事にした。

暫くお天気が悪いのでここで暫く係留する事にした。

5月20日(日)Cannagione 曇り～雨

久しぶりの全天、雲に囲まれたお天気だ。彼の車でサッサリに観光に行く。途中この近くのサン・パンタレーの町に寄る。フランス人がお気に入りの村でフランス人の住民の多い落ち着いた佇まいの村だ。Antonio は 30 年近くフランスに居たのでこの村が好きでよく来るそうだ。

ドライブしていると岩と緑に覆われた山々の間に草原が広がり、所々にオリーブの木々の林やブドウ畑があり、又牧草地では羊、馬や牛が放牧されていてサルデーニャの山岳地帯も美しい。

サッサリは大きな町だ。お祭りで賑わっていたが生憎の雨でパレードは見る事が出来なかった。民族衣装を着たパレードに参加する予定だった人がバラバラに歩いているのを見ることが出来た。お昼は彼に美味しいところに案内して頂く。

私は魚介類のパスタ、いかのグリルを頼む百合子さんは 3 種盛りのビーフを注文したが絶品の味だったそうだ。

艇に戻ってきたのが 18 時過ぎになり艇でお茶を飲み安らぐ。夜はお屋のご馳走がまだ消化しきれないようなので女性陣は抜いて、平田さんと私は温麺を頂く。

西洋の食事をしていると偶に夕食を抜かないと胃が疲れるようだ。

夜は 24 時過ぎまで飲みながら世間話をして眠りにつく。

5月21日(月)Cannagione 曇り～雨

今日は予報でマエステロが午後から強く吹く予定であったので予定のない一日とする。朝私は昨日入れなかったシャワーを浴びに、平田さんはマリナーナ前のお店で朝のコーヒーを楽しんだ。昨日港に入る小さな漁船が揚げるカサゴを予約してあったので受け取りに行く。

お昼は生ハム、野菜、パンで軽く食べる。

午後女性陣は買い物に、平田さんは読書、私は雑作業をそれぞれする。女性陣は買い物を楽しみ、市場ではイカ、タコを仕入れてきた。

夜は Antonio を招待して艇で宴会をする。Antonio はバラのお花とおいしそうなクッキーを持ってきてくれた。

今晚の夕食はタコの日本風マリネ、イカ刺身、チラシ寿司の純日本風、そして今日仕入れたカサゴのアクアパッツアを百合子さんと悦子で料理してくれた。ご馳走と共に、平田さんが持ってきてくれた「真澄」純米大吟醸をおいしく頂く。最後はクッキーとエスプレッソで締めくくった。日本で Antonio さんも大ご馳走に大喜びであった。

5月22日(火)Cannagione 雨～曇り

今日はレンタカーを借りて島内のワイナリーや古代遺跡のヌラーゲを訪ねる予定だったが朝から雨なので艇でゆっくりすることにする。

それぞれ思い思いの時間を過ごし午後買い物に出かける。ここは小さな町だが長期滞在休暇で夏には賑わう場所であるようだ。お店もチョコチョコあり百合子さんと悦子はお土産を買った。

夕方 8 時より Antonio さん宅でお食事の招待を受けているので歩いて彼の自宅まで行く。彼は離婚して独り者の生活だが実に料理も上手で家庭菜園をやったり漬物を作ったりして日々の生活を楽しんでいるようだ。

昨年もおいしい料理を頂いたが今年もフルコースのサービスをしてくれた。

メニューは以下の通りだ。

グリーンピースとサルデーニャンパスタのスープ
アーティチョークのマリネ(自家製アーティチョーク)
自家製オリーブ
モロッコいんげんの温野菜
アニョーのロースト(乳のみ仔羊)
ポークソーセージのロースト
タジンの野菜料理
自家製白、赤ワイン
イチゴ、メロン、ピワ

の豪華メニューを頂く。



彼はインテリアデザイナーだが、妹さんがブルタニューで B&B のホテルを経営しているそうで彼自身も 30 年間フランスにいたそうでその関係もあり料理が上手いのかもしれない。ブルタニューのホテルにも行くよう勧められる。機会があれば行ってみたいものだ。

全てがおいしく帰りには残りをお土産で頂いて帰る。

5月23日(水)24日(木)Cannagione～(Caprera)～Roma 10NM+130NM

昨日までのマエストロの悪天が終わり今日から晴天がしばらく続く。折角なのでもう一日国立公園でもあるマデレーヌ諸島で遊びたいところであるが今日から明日にかけてローマに向けてフリーの北西の良い風が吹くので出港することにする。

ローマ迄 130NM あり 6 ノット計算で 22 時間ほどかかるので一昼夜の航海になる。早く出ても到着するので折角風光明媚なマダレーヌ諸島なので 10NM 先のカブレラ島のナポリターナの入り江にアンカーを打ちお昼を食べてからローマに向かうことにする。



ここは昨年もアンカーリングしたところで自然の中素晴らしく美しい入り江である。ゆっくり景色と昼食を楽しんだ後 15:00 にローマに向けアンカーを揚げる。

進路 75 度に対して当初 300 度方向から 15, 6 ノットの風受けて 6~6.5 ノットの艇速で気持ち良く帆走する。20:38 に日没、そして一時間後に三日月が水平線に消える。

夕食はカレーライス、帆走中の夕食は久しぶりだ。

満天の星空で百合子さん、悦子は感激する。ただし二人は星を見ただけでその後夜間はデッキに出ることはなかった。風が段々北に回りアビームになってきて風を感じるようになり寒さが厳しくなる。

日中は裸で暑いぐらいなのに夜になると下にセーター上にカッパを着ても寒い。

その中で私より 10 歳先輩の平田さんはキャビンに入ることもなく一緒にワッチをしてくださった。平田さんの体力には敬服だ。夜半風が 20 ノットを超えてきたのでジブ。メインともワンポイントリフする。横からの波を受け時折大きくローリングをした。

日の出は 6 時 やはり空が明るくなってくるとホットする。今日も快晴だ。陽が上がるとともに暖かくなり T シャツ一枚になる。日中と夜の体感温度の差が激しい。

14:30 Fiumara 川の河口にある Porto Romano に舫いを取る。平田さんと二人でワッチ出来たので大変助かった。

お疲れ様のビールを皆さんで一杯飲んで遅いお昼をポトフで頂く。至福の時である。食後デッキのシャワーで体を洗い夕方まで一眠りする。

この Porto Romano はローマらしく立派なヨットクラブとレストランがありプールも併設されている整備されたマリーナだ。ただし近くに何もなくその面では不便である。

この船は 14.14mの長さなのでいつも 15m ないし 16m の長さの料金を取られるが 14m の長さの料金にまけてくれた。因みに一泊 65€であった。艇泊料であるが千差万別でサルデーニャからここまで一番安いところで 24€で高いところで 101€だった。今は夏前の料金であるが 6 月からは 3 割程度アップする。

夜はお昼が遅かったのと疲れもあって皆さん食が進まずそれぞれおじやを食べたりお昼の残りを食べたりして軽い夜食にした。

5 月 25 日 Roma 快晴

今日は平田夫妻が下船されローマのホテルに泊まる。ローマで 2 泊して買い物、観光を楽しまれる予定だ。私は午前中カプレラ島で船外機が不調だったので修理を頼みに行く。

昼すぎに我々も一緒にタクシーでローマのホテルに向かう。平田夫妻がチェックインした後ホテルの近くのピザラで昼食を頂く。その後コンドッティ通りに買い物に行く。女性陣はかなり買い物をしたようだ。平田さんと私は辛抱強く付き合った。

タクシーでホテル迄戻りここでお別れをした。

3 週間弱ご一緒して頂き大変楽しいサルデーニャ巡りと航海が出来た。平田さんには色々と艇での仕事を手伝って頂いたりして大変恐縮の至りであった。又体力も充実していらっしゃりお酒の量も際立っていらして敬服の至りだった。私も大変助かった。

奥様は英語、フランス語、イタリア語と自由自在でイタリア人が艇に乗っている感じだった。友人との会話、そして何処へ行くにもイタリア人と一緒のようで助かった。才色兼備の素敵な奥様だ。

別れた後空港までバスで、空港からタクシーを拾って帰る。今まで平田夫妻と 4 人でいたのが二人になり少し寂しい気持ちになる。

28 日にローマに着く三田ヨット OB 柴崎さん、中里さんをこのマリーナで待つ。